



○ めざす児童像
明るい子ども
正しい子ども
強い子ども

○ 学校の教育目標

豊かな心で正しく判断し行動できるたくましい体をもった子どもを育てる
～しっかりととした夢をもち、夢の実現を目指して頑張る子どもの育成～
串間市立秋山小学校 学校だより NO. 12 令和4年3月23日

秋山っ子

3学期終了～ご理解、ご協力ありがとうございました～

早いもので、令和3年度ももうすぐ終了します。コロナウイルスというこれまでに経験したことのない脅威の中、今年度も教育活動の制限、行事の縮小や中止などの対応をせざるを得なかつた年となりました。

そんな中、あらためて「健康でいられることのありがたさ」や「生きていることの大切さ」を感じることの多かった1年にもなりました。

これから、この恐ろしい感染症がどうなっていくのかまだ分かりませんが、これまで同様、子ども、保護者、地域の皆様、そして職員の命を最優先に考え、保護者並びに地域の皆様のご理解とご協力を得ながら子どもたちをよりよい方向に導いていかなくてはならないと思っています。

今年度の保護者並びに地域の皆様の様々な面でのご支援に心から感謝を申し上げます。どうもありがとうございました。

秋山っ子発表会

2月26日（土）は、今年度最後の参観日でした。3・4校時に「秋山っ子発表会」を行いました。

はじめは、学年発表でした。最初に発表した5年生は、総合的な学習の時間と国語の発表をしました。総合的な学習の発表では、原稿を見ることなく、スライドや聞く人の方を見て発表することができました。また、聞く人に興味をもってもらうために途中にクイズを入れるというような工夫もしていました。短歌の発表では、それぞれ夏休みの思い出と冬休みの思い出を短歌に表し、発表しました。5年生の発表は、最上級生の発表らしく下級生のお手本となるようすばらしい発表でした。

次の1年生の発表は算数の計算と一輪車の発表でした。算数の計算の発表では、簡単な計算からだんだんレベルが上がってきましたが、簡単なものは暗算で、難しいものについては途中の考え方を言いながら全ての問題を正しく計算することができました。また、一輪車の発表については、9月の運動会の時には、3mぐらいしか乗ることができませんでしたが、たった5カ月で体育館の端から端まで20m以上乗れるようになりました。

学年発表の最後、3年生の発表は、総合的な学習の時間と国語の発表でした。総合的な学習の時間の「福祉について」の発表では、福祉体験活動を通して、調べてみたいことを決めて調べ、まとめでは、国語の「外国の紹介をしよう」の単元で学習したことを生かして発表をしました。

学年発表の後は、5年児童が「市の青少年の声を聞く会」で発表した作文「牛のお世話を通して考えたこと」を発表しました。牛のお世話を通して「命の大切さ」を学び、愛情込めてお世話をがんばることや、口蹄疫のような悲しい出来事が起こらないように予防して、いい牛を育てていきたいという自分の考えを堂々と発表することができました。



次は、なわとび発表でした。なわとび集会がコロナの影響で中止になったため、発表会で披露しました。個人技では、3・5年生は、できるようになった技を組み合わせた連続技に挑戦しました。1年生は、担任と一生懸命練習して前とびが30回、後ろとびが5回できるようになりました。また、前かぶりの長なわにも入り、跳べるようになりました。長なわについては、3年生以上は、ダブルダッチに取り組みましたが、難しいダブルダッチをみんなが跳べるようになりました。

最後は、全体音楽発表でした。市の音楽会で発表した「カイト」と音楽会後に練習した「クシコスポスト」の合奏を披露しました。「クシコスポスト」はテンポの速い曲で、みんなで合わせることが難しい曲ですが、太鼓のばちのリズムに合わせて、テンポよく演奏することができました。

今年度の発表会は、新型コロナウイルス感染予防のために、来場者を保護者とその親族の方だけに制限して実施しました。そんな中でしたが、児童は練習の成果を發揮し、来場された皆さんに成長した姿を見ていただくことができました。寒い中、最後まで参観してくださいました皆さんありがとうございました。

3学期遠足

3月4日（金）は学年末の遠足でした。串間駅に集合し、目的地である串間市の総合運動公園に徒歩で移動しました。

運動公園では、はじめに2つのグループに分かれてウォークラリーをしました。グループは、運動会の赤団と白団で分けました。運動公園内を歩きながら、ゲーム（輪投げ、じゃんけん、豆運び）やクイズ（記憶力、商店街）をしました。ゲームやクイズの得点と態度点（あいさつ・返事、協力）の総合点で競いました。結果は、白団チームの勝ちでした（運動会は赤団チームが勝ちました）。ウォークラリーの後は、5年生が考えた遊びやゲームをしました。全体レクレーション後は、草スキー場の上で弁当を食べました。その日は、今年度最後の「弁当の日」でした。一段と腕を上げた素敵なお弁当（取り組んだことやがんばったこと）の紹介をして食べました。食後は、徒歩で旧吉松家住宅に移動し、施設見学を行いました。職員の方や館長の林さんに雛飾りや施設の説明をしていただきました。終わりの会では、それぞれが感想（心に残ったこと、学んだことなど）を発表しました。

天候が心配されましたが、晴天に恵まれ、子どもたちにとって学びのある楽しい遠足になったようです。

うれしいお知らせ

串間市の教育研究論文において、本校の宮田養護教諭が「最優秀賞」を受賞しました。宮田養護教諭は新採2年目であり、2年目の受賞はまさに「快挙」です。また、本校の教頭が「特別賞」を、そして本校の対象職員6名のうち半数の3名が教育研究論文に取り組んだことから「学校賞」も受賞しました。子どもには常日頃から「チャレンジすること」のすばらしさや大切さを指導していますが、率先垂範で多くの先生たちが教育研究論文に挑戦したことを大変うれしく思っています。

児童の健やかな成長のためには、指導する教師の指導力を向上させることが大切であるという考えのもと、今後とも秋山小職員は、研究と修養に努めています。

